

理事会

2022.11.29 ホテルキャッスル

理事長挨拶



今年、最後の理事会です。
毎日1千人を超えるコロナ感染者数、ホールの皆様のご心労をお察しいたします。
本日は、理事会後若手スタッフの意見交換会も予定されており、忌憚のないご意見を頂戴して業界に反映させたいと考えております。理事の皆様、ご協力よろしくお願いたします。

議長

野口理事

本日は、多数の協議事項及び報告等がございますので、ご協力をお願いいたします。また、午後からの意見交換会につきましても理事の皆様、アドバイス等、よろしくお願いたします。議案はいずれも可決



○各支部暴力追放研修会の開催(案)について

| 区分 | 開催日時・場所・講師 |
|------|---|
| 庄内支部 | 令和5年1月19日(木) ○ 場所:なの花ホール 時間:午後1時00分午後2時30分 ○ 講師:鶴岡警察署刑事第二課長 菅原翔吾氏 |
| 山形支部 | 令和5年1月26日(木) ○ 場所:パレスグランデール 時間:午後1時00分午後2時30分 ○ 講師:山形県警察本部刑事部組織犯罪対策課 暴力団対策担当補佐 西村和洋氏 |
| 最北支部 | 令和5年1月27日(金) ○ 場所:とくら 時間:午後1時00分午後2時30分 ○ 講師:尾花沢警察署刑事生活安全課長 那須寛氏 |
| 置賜支部 | 令和5年2月2日(木) ○ 場所:ホテルモントビュー米沢 時間:午後1時00分午後2時30分 ○ 講師:米沢警察署 刑事第二課長 齋藤剛氏 |

○県中小企業パワーアップ補助金(Eコマース等支援事業)のホームページリニューアル代金の支払い(案)について

・「Eコマース等支援事業」について、10月20日付けで県知事から認定を受け、さらに11月28日付けで中小企業団体中央会々長から同事業に係る補助金交付決定通知書が通知されました。
・組合負担費用は、中央会(山形県・全国)からの補助金50万5千円、補助金がEコマース補助金と合わせて、合計50万5千円、組合負担金額が38万6千円となります。
来年1月下旬を目途にリニューアルします。期待してね。

○組合員ホールへのアルコール消毒液の配付(案)について



組合では、この季節、人流も多くなりますが、ウィズコロナ時代に合った経営を推進するため、年末年始に恒例の山形放送(YBC・4ch)のテレビCMによる広報を行い、より多くのお客様にご来店いただけるようになります。
お客様をはじめ、ホール従業員の命と健康を守るため、アルコール消毒液を全ホールに配付し、新型コロナウイルス感染症対策を万全にします。12月中旬ころを目処に配付します。
お客様、スマスロや6.5号機等、様々な遊技機で安心して遊んでください。心よりお待ちしております。

○県独自の年末年始のテレビCM広報(案)及びWEBバナー広告の廃止について

【年末年始のテレビCM21本放送】

・昨年同様、今年も年末年始の期間にテレビCM・山形放送(YBC 4ch)を放送。
12月25日(日)~12月31日(土)の間 13本
1月6日(金)~1月9日(月・成人の日)の間 8本
【WEBバナー広告】
・今年の山形ファン感から新しい試みとして、Webバナー広告をGoogleで実施していたが、それぞれのファン感での結果報告では、表示回数・クリック数が回を追うごとに減少していることが分かり、次回の山形ファン感では、Webバナー広告を止め、その予算をテレビ局1局を増やし、テレビCM広報とします。

○表彰審査(防犯活動功労)

ジェイクラブ寒河江店・マルハン酒田店
いずれも窃盗事件の早期解決の功労

○健全営業大会

10月26日:ホテルキャッスル

演題 コロナ禍におけるパチンコ業界の健全営業について

山形県警察本部生活安全部
生活安全企画課
調査官 清藤幸雄氏



皆様には、平素から警察行政の各般にわたり御理解と御協力をいただいていること、地域の犯罪被害防止や少年の健全育成に寄与していただいていることに厚く御礼申し上げます。

県内の治安情勢及びコロナ禍におけるパチンコ業界の健全営業についてお話しするが、皆様には共通認識のもと、今後とも健全営業に努めていただきたい。(県内の治安情勢の説明省略)

今般の新型コロナウイルス感染症は、全世界に拡大し、多大な影響を与えており、皆様も大変厳しい状況に置かれていることも承知している。業界の感染症対策として、パチンコ・パチスロ営業21世紀会において「パチンコ・パチスロ店営業における新型コロナウイルス感染症の拡大予防ガイドライン」が策定されている。これまでパチンコ店でのクラスターの発生はないが、万が一にもクラスターが発生した場合は、ガイドラインに沿って対応し、お客様と従業員の方々、そのご家族の命と健康を守っていただきたい。依存問題に関しては「山形県ギャンブル等依存症対策推進計画」が策定されている。

パチンコには、人を引きつける大きな力を持っていること、それ故、人によっては、遊技が過度になってしまい、負債、家庭問題等に至ることがあること、お客を依存症に陥らせてまで利益を得るのではなく、気軽に安価に遊技できる環境を提供するという、そして、適法か違法かといった次元を超え、より一歩進んだ次元で、パチンコが潜在的に持つ負の側面を生じさせないよう真摯に向き合ってください。

具体的には、射幸性の抑制、お客と遊技の距離感に関する啓発等、一般的な対策のほか、のめり込んでしまった本人あるいは家族が助けを求めてきたときには、確実にアクセスを制御する「自己申告・家族申告プログラム」の実践とその実効性の担保を願っていただきたい。各営業所において、切実な家族からの願いに対し、誠意をもった対応がなされるよう、更なる普及・充実をお願いしたい。

新型コロナウイルス感染症が長引き、遊技人口も減少傾向にある中、大変苦勞が多いと思われるが、まずはパチンコへののめり込みや依存を始めとした課題に組合一丸となって対応し、お客が安心して楽しめる遊技環境を創出して広く県民に憩いと潤いの場を提供するような、健全なレジャーとしてその良さを多くの方に味わってもらえるよう、皆様方に期待したい。

清藤様ありがとうございました。

